

愛媛セルロースナノファイバー関連産業振興 ビジョンの概要

愛媛県産業技術研究所

現状認識とビジョンの目的

愛媛県内には、愛媛大学紙産業イノベーションセンターや、大手製紙企業が立地していることから、本県独自の地域産業や資源を活用して、CNF技術の社会実装化を進め、CNF先進県を目指す。

これまでの取組み

平成22年度から県産業技術研究所においてCNF関連の研究を開始。平成28年度からは、各産業分野において産学官の関係機関が連携して試作品開発を実施しCNF利用の可能性を検討。

基本戦略

(1) 参入企業の発掘

県内にCNFの製造から用途開発まで可能な機関が集積している利点を活かし、CNF関連産業への参入並びに活性化を支援

(2) 高度な技術人材等の養成

CNFの取扱いに通じた高度な技術人材等を養成

(3) CNF技術の社会実装化に向けた複合化技術の確立

構造材料や紙・シート状素材などへの代替用途やニッチな分野についても検討を行い、高付加価値製品化を可能とするCNF複合化技術を確立

(4) 柑橘ナノファイバー（柑橘NF）の規格化

成分の特定や分析手法の規格化、機能性評価などを行い、「柑橘ナノファイバーEhimeモデル」を確立

推進期間

2019～2025年度（7年間）

目標（2025年度時点）

- CNF関連産業への参入企業数 : 30 社
- CNF関連分野での製品化件数 : 10 件
- CNF関連分野での技術人材の養成 : 100 人



愛媛県イメージアップ
キャラクター
みきやん